

オプジーボの動向について

○オプジーボ使用状況（新規患者／継続患者の構成比）

- * 売上状況における新規患者／継続患者の構成比は、新規患者が 13-15%、継続患者が 85-87%と推測しています。
- * 当社の MR（医薬情報担当者）の調査を基に、オプジーボ使用患者数における新規患者／継続患者の構成比は、新規患者が 16-19%、継続患者が 80-83%と推測しています。
- * 新規患者への使用増が継続使用患者数の増加につながるため、新規患者さんへの使用促進が重要であると考えています。

○オプジーボがん腫毎の平均投与期間

- * 当社が実施した臨床試験を基に推定されるがん腫ごとの平均投与期間は、以下のとおりです。

メラノーマ	5 カ月
肺がん	4.5 カ月
腎細胞がん	9.5 カ月
ホジキンリンパ腫	18 カ月
頭頸部がん	4.5 カ月程度

- * オプジーボ投与による肺がん治療について、レセプトデータを解析した平均投与期間は、二次治療患者で 5 カ月、三次治療患者では 3 カ月程度です。
なお、このなかには現在も投与継続中の方が含まれているため、平均投与期間はさらに長くなることが見込まれます。

○日本における胃がん治療フローチャート

- * 日本における胃がんの患者数は約 14 万人です。そのうち、9 月 22 日に承認取得したオプジーボの適応となる三次治療患者数は約 1 万人、四次治療以降の患者数は 3,000 人程度と推測しています。
- * オプジーボの投与患者数は、三次治療患者の 40%程度、四次治療以降の患者の 20%程度と見込んでいます。
- * 今期（承認取得から期末まで 6 カ月強）の投与患者数は 3,000 人程度で売上は 60 億円程度を見込んでいます。
- * 9 月 22 日の効能追加承認取得以降、MR による推計では、10 月末時点で約 900 人の患者さんにオプジーボが処方され、想定よりも順調なスタートとなりました。